

2020年度 学校評価に対する分析・総括および保護者の皆様のご意見に対するご回答

2020年度の学校評価にご協力賜り、誠にありがとうございました。結果がまとまりましたので、学校評価（自己評価・学校関係者評価）に対する分析と総括をさせていただきます。また、寮生・通学生の保護者の皆様にご回答いただいたアンケートの結果も併せてご報告いたします。

【分析・総括】

2020年度は全体を通じて、概ね肯定的な評価となりましたが、更なる改善に向け教職員自身の自己変革を図ると共に、保護者の皆様や地域の関係者と連携しながら教育活動の変革を図ってまいります。

総合評価でBだった項目は、「学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている」で、昨年と同様でした。学習の遅れがちな生徒に対して、中学では、毎週火曜日と金曜日の7限に演習を中心とした内容で数学と英語の補講を行い、学力の定着を図っております。高校では、夜学習に（通学生には宿題に）英語と数学を中心として演習を行い、基礎学力の定着を図っています。また、宿題の出し方を工夫したり、やるべき勉強をできるだけ明確にし、自学自習できるように指導しております。今後も学力向上に向けて、教員自身の授業力アップと生徒一人ひとりに対する丁寧な指導を行ってまいります。

また、生徒のアンケートでは、①「学校では、生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。」、②「学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている」がB評価でした。

①に関して、生徒の中には「先生が忙しそうで、相談したいけど遠慮してしまう」「本音で相談できる先生がいない」という生徒もいます。仕事の無駄を失くし、生徒と向き合える時間を増やしていくとともに、生徒の心に寄り添って、生徒といっしょに悩みを解決できるよう、教職員一同、抜苦与楽能力・対機説法能力を磨いてまいります。また、外部講師を招いて、職員研修などもしております。

②に関しては、図書館のレイアウトを変更し利用しやすくしたり、経典で紹介されている教養書の紹介コーナーを設けたりして、生徒の興味を引くよう工夫しています。また、生徒のリクエストも聞きながら、蔵書を毎年増やしています。今後も、図書委員会の生徒達と共に、魅力的な図書館づくりに尽力してまいります。

【寮生・通学生の保護者アンケートの結果】

今年は、保護者会からのご要望もあり、寮生・通学生向けに幾つかアンケートを取らせていただきました。その結果は以下の通りです。

◇寮生のお小遣いについて

お小遣いの金額は、ご回答いただいた方の平均を取ると、中学3,100円（回答数38）、高校4,400円（回答数62）でした。「特に決まっていません」という方が、中高合わせて9名でした。

また、お小遣いの渡し方は、①帰省時等に直接手渡ししている50%、②キャッシュカードで生徒自身が引き出している33%、③現金書留で送っている8%、④その他9%でした。（回答数127）

◇通学生の放課後の学習について

通学生の放課後の学習について、①学校に残って勉強していると回答されたのは4名（全員高校生）、②授業や部活動が終わったら勉強せずに帰宅していると回答されたのは8名でした。

また、夜学習に出る場合の夕食は、①帰宅してから夕食を食べている7名、②夕食を持たせている2名、③カフェテリアのコンビニを利用している2名、④ハートフルキッチンに申し込んで食事している1名でした。

以上